

ほっとタイムス



親子で読書に親しもう

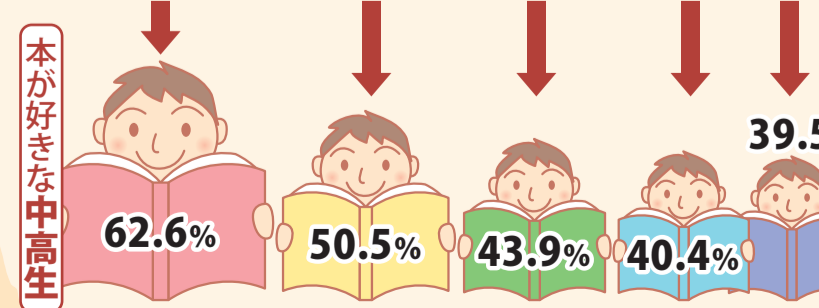
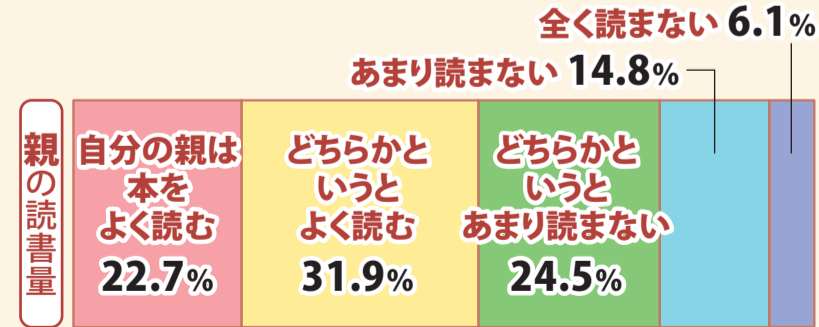


母・吉松理恵さん
「この撮影で親子で読書館に行きました。みんなで読むのは久しぶりかな...。絵本や児童書のコーナーをまわり、目を輝かせている子どもを見て、図書館って結構楽しいなって思いました。また再訪したいです。子どもたちの貸出カードもへんが、楽しかったです。」

親が読書するほど子どもは読書好き

中学生に、自分の親の読書量と、自分自身は本が好きかどうかについて尋ねたところ、「親がよく読む」と回答した中で自分も読書好きな中学生は62.6%、「親は全く読まない」と回答した中で読書好きな中学生は39.5%でした。親の読書量と子どもの読書の好き・嫌いには相関関係があるようです。

親の読書量と子どもの読書の好き・嫌いの関連



子育て応援団

子育て相談窓口
子育てほっとライン
子育てに悩まない親になります。どんなことでも気軽に電話ください。
☎076-433-4150 (FAX共用)
●月曜～金曜 10:00～22:00 ●土曜 17:00～22:00
※上記時間以外も留守番電話・FAXでお受けします

家庭教育カウンセリング
臨床心理士が直接会ってお話しします。電話による相談もお受けします。「子育てほっとライン」で予約申し込みをお願いします。
●月曜 9:00～17:00 ●会場/富山県民会館

子育ての情報がいっぱい!
子育て情報バンク「子育てネットとやま」
家庭教育、子育て支援、県内でおかけMAP、もくもく(子どもと楽しめるレシピなど)のページ、子育てサークル情報などをインターネットで提供しています。子育てメール相談も受け付けています。
<http://www.pref.toyama.jp/sections/3009/hp/>
子育てネットとやま

子育てメール相談受付中
モバイル版「子育てネットとやま」
いつでも どこでも 気軽に携帯電話からのアクセスはこちらから
<http://www.pref.toyama.jp/sections/3009/hp/k/>
相談はホームページから

子ども相談窓口
子どもほっとライン
お子さんからの悩みや疑問に電話やメールで相談に応じています。
☎076-443-0001 (FAX共用)
●月曜～金曜 17:00～21:00
※上記時間以外も留守番電話・FAX・電子メールでお受けします。
E-mail kodomoh1@tam.ne.jp

いじめ・学校生活の悩み相談
富山県総合教育センターでは、いじめや学校生活、友達関係について悩んでおられる方の相談に応じています。
① いじめの相談 (24時間可)
☎076-444-6320 (FAX共用)
☎0570-0-78310 (24時間可)
② 友達関係・学校生活の悩み
☎076-444-6167
●月・金曜日 13:00～21:00
●火・水・木曜日 9:00～12:00/13:00～17:00
③ 共通のメールアドレス
E-mail future@tyam.ed.jp

特別な支援が必要なお子さんの相談
身近な市町村で専門のスタッフが対応する地区相談会を実施しています。お子さんの子育てや就学等でお心配や気になることがありましたら、下記までご連絡ください。
●東部教育事務所 ☎076-444-4569
●西部教育事務所 ☎0766-26-8461

夜間救急相談窓口
富山県小児救急電話相談
夜間におけるお子さんの急な病気やケガなどの際に、電話で相談ができるサービスです。
☎ #8000 (短縮ダイヤル)または、☎076-444-1099 携帯電話からもつながります。
※県が委託した民間の電話医療相談サービス事業者に転送されます。
●19:00～翌朝9:00 (毎日) ●無料
※この電話相談は、助言を行うものであり、診療を行うものではありません。
富山県医療課 ☎076-444-3219

緊急保育サポート
保育サポート
残業や出張で保育園に迎えに行けない時、保育サポートがお手伝いします(有料)。事前にご相談ください。
財団法人21世紀職業財団富山事務所
☎076-444-1526

とやま緊急サポートネットワーク
子どもの病気や親の出張・残業などの緊急時の預かりをします(有料)。会員登録などありますので、事前にご相談ください。
日本保育協会富山県支部 本部(中加積保育園)
☎076-476-6252

「とやま木づかいフェア」開催

富山県からのお知らせ

10月8日(土)、9日(日)の2日間、高岡テクノドームで「木のある生活」の魅力伝える「とやま木づかいフェア」が開催されました。木造住宅や家具の展示だけでなく、富山県産の木の遊具が設置された「とやまの木の公園」や木工体験教室などもあり、親子で楽しむ一日となりました。

射水市 金山地区の親子(未就園児を中心)に、インストラクターを招いての親子フィットネス、子育て支援センターのスタッフによる読み聞かせやおもちゃづくりを実施。また保育園の行事にも一部参加して、子育てと一緒に楽しんでいきます。(現在15組の親子が会員)

活動日時：毎月第2、4金曜日 親子フィットネス 午前10時30分 木曜日 遊びの指導 毎月第3日曜日

活動拠点：金山コミュニティセンター
申込要項：入会費、月会費などは不要
連絡先：金山コミュニティセンター (射水市青井谷1648) ☎0766-562649

とやまのふれあいスポット

桜ヶ池公園 自遊の森

ロープジャングルジム、展望台滑り台滑車ロープなど遊びのアイテムが豊富で温泉、テニスコートが家族でゆっくり過ごすのに最適です。石窯焼きピザの手づくりも体験できます。

所在地：南砺市桜ヶ池公園 利用料：施設により異なり、事前に予約が必要なものもあります。下記HPに紹介されていますので、ご参照を。
連絡先：自遊の森 ☎0763-62-3360 (9時～17時)
URL: <http://s-jiu.com/>

もみ子先生の 2回目 おもしろ実験教室

身近な材料で科学の実験。「すごい」「なんで」と子どもは興味津々。

水の中にシャボン玉をつくろう

用意するもの：大きめのコップ、台所洗剤、ストロー(直径5～6mm)、水

実験手順：
① コップに水(150mlほど)、台所洗剤(2～3滴)を入れて、薄い洗剤液をつくる。
② ストローの下部3～4cmを洗剤液につけ、ストローの上部を指で押さえて液が落ちないように洗剤液から出す。
③ 洗剤液の表面から少しだけストローを離し(1cm以内)、押さえている指を離してストロー内の液を落とすと、洗剤液の中に、シャボン玉(直径1cm程度)ができる(高いところからストロー内の液を落とすと、シャボン玉がでにくい)。

実験のタネ：
● 普通のシャボン玉：洗剤液の膜、空気、界面活性剤
● 水の中のシャボン玉：コップの中の洗剤液、空気、界面活性剤、水、ストローでできたシャボン玉

水には表面張力(分子が互いに引っ張りあう力)があるため、水に水滴を落とすと、空気の膜が水滴を覆うこと(膜を球状にすること)ができます。ところが洗剤液を入れると、界面活性剤が引っ張りあう力を弱くし、空気の膜が壊れにくくなります。その結果、空気中とは逆の構造のシャボン玉が水中(洗剤液中)にできるのです。

女でんじろうを自ざす池田もみ子先生のホームページ <http://www.destin.jp/>

前号感想のご紹介

前号に紹介されていた「ナイトハイク」に娘2人(小6と年長)を参加させました。曇りで、異つな夜。初めはすごく怖かったのですが、しばらくすると「見えてきた」と驚き、懐中電灯も持たずに林道を歩き始めました。3キロで富山湾が一望できるところに出た時は歓声を上げました。昼とは違った自然を感じたようです。氷見市 T

水見の山中からの富山の夜景、手前は氷見市街、湾の向うは富山湾。

紙面に参加しませんか? お便利! 読者モデル 大募集中!!

本紙へのご意見や感想、子育てに関するエピソードなど皆さんのご意見を募集しています。表紙をはじめとした紙面に登場して下さる元気な親子も募集中。お名前、住所、電話番号を明記し、写真を同封の上、ご応募ください。ご協力いただいたご家族には記念品を贈呈します。

〒930-8501 富山県教育委員会生涯学習・文化財室
かわら版「ほっとタイムス」係(住所記載は不要です)
☎ 076-444-3435 FAX 076-444-4434

株式会社コージン

家庭学習講座開催を機に
社の子育て支援も検討

一般事業主行動計画の作成を機に、社員の子育て支援の環として、8月に企業内家庭講座を開催しました。子どものほめ方叱り方についての話を聞き、受講した未婚社員からは「子どもが可愛くなった時に役立つ」、低学年の子を持つ親からは「今までの子どもへの接し方が間違っていたことが確認できた」と好評でした。社では家族を交えてのハイキューなどを開催しており、今後は自社独自の子育て支援策も検討し、仕事と子育ての両立を図っていく予定です。

お話をうかがった方
同社総務部総務課 川岸綾子さん

柿の洋風白和え

柿のビタミンCはみかんの2倍以上

材料/1人分
甘柿.....1/2個
豆腐.....70g
クリームチーズ.....15g
マヨネーズ.....3g

作り方
● 豆腐の水をきり、レンジで加熱する。
● 加熱した豆腐をキッチンペーパーで包み、水をきる。
● 水をきった豆腐、クリームチーズ、マヨネーズ、塩を混ぜ和え衣を作る。
● 柿の皮を剥いて、種を取り除き、一口大に切ったものに◎を加えて出来上がり。

かぜのどが痛い時のアドバイス
これらの季節は、室内の空気が乾燥しやすくなります。閉めきった部屋で過ごしていると、のどや鼻の粘膜が乾燥し、炎症を起こすことにより痛みを生じます。通常の、のどや鼻の粘膜の予防状態ではかぜのウイルスを防御できないので、空気を乾燥させないことがかぜの予防策といえます。免疫と関連する栄養素として、たんぱく質、ビタミンAがあります。ストレスを感じることで免疫力が低下し、かぜをひきやすくなるため、ビタミンCの補給も重要といえるでしょう。